

合同会社かつしか映像制作所

ワンストップ×映像の力で、商品の魅力をお届けする



創業 2019年4月

創業塾 2021年度受講（青和信用組合）

所在地 葛飾区立石7-10-2 立石ウッドビル302

E-mail info@katsushika-ms.co.jp

代表

本村 康祐

Motomura Kosuke

5年間おもちゃメーカーに勤務。退職後、ライター、広告企画などの仕事を経て2020年から、映像制作を中心に現在の屋号で事業を展開。2024年に法人化

1. 事業へのこだわり

ワンストップで小回りの利く頼れる存在

企業の商品のPR動画（PV）制作を主に行っています。商品をしっかり紹介するもの、バラエティー寄りのもの、映画のようにかっこよく撮るもの、商品を使ったイベントの様子など、内容は多岐にわたります。お客様には、おもちゃメーカーやアニメ制作会社が多く、一つの商品シリーズを長く担当することが多いですね。

企画、台本作成から撮影、編集まで、基本的にワンストップで受け持っています。分業によるコミュニケーションロスがなく、細かいニュアンスも把握して、すぐに修正できるレスポンスの良さや小回りの利くところが、お客様からご愛顧いただいている理由かなと思います。

大学時代にラジオのオールナイトニッポンでパーソナリティを1年間やっていました。その後、株式会社タカラトミーで、玩具の企画やPRを担当し、テレビCMを作ることもありました。商品が生まれて実際に世に出るまでの流れの中で映像がどのタイミングでどう必要か、お客様が気にかけるポイント、発注する側の考え方などを学びました。

ご依頼の際は、まずお客様がやりたいことをお聞きして最適なやり方をご提案しています。映像でなく他のPR手法の方がよいのでは？ということもお話します。メーカーとしての経験とメディア出演者としての経験

から表現上気をつけるべき点もお伝えするよう意識しています。そんなところも信頼につながっているのかなと感じています。

2. 創業のきっかけ

自分のやりたいことで勝負したい

大学では経済学部に入ったのですが、勉強のほかに勝負できることを作ろうと熱中したのが映像なんです。就職の際には、自社商品のPRに映像が必要になるメーカーがよいと思い、タカラトミーに入りました。自分が担当した商品で初めてウェブで生配信をしたり、他部署の動画配信をサポートしたり、すごくいい経験でしたね。

もともと自分の責任でやりたいことをしたい気持ちが強かったので、20代のうちにチャレンジしようと会社を辞めて起業を決意しました。

しばらくはウェブ記事のライターや商品広告の企画などいろいろチャレンジしながら、自分の力を発揮できる領域を模索しました。動画制作の仕事が増えてきた頃、新型コロナウイルス感染症が拡大し、店舗営業やイベントが制限されました。企業がYouTubeや映像の活用に関心をもち始め、動画制作の需要が増える感覚がありました。一方で、打ち合わせや撮影現場は少人数に制限される状況でした。

そこで、1人で全部撮影して編集まで行うスタイルでやってみようと、ワンオペで扱えそうな機材一式を購入し営業をかけました。「打ち合わせも1人です」と言うと、気を遣う必要もなく効率がいいとご依頼が増えました。その時期に前職タカトミーから新商品のPVの仕事をいただき、嬉しかったですね。コロナ禍は私にとって、映像制作に軸足を置く決心をした転機でした。

3. 創業後のエピソード

映像が事業拡大のきっかけに

2年前に折り畳み式の電動バイク『タタメルバイク』を製造しているハードウェアスタートアップ(株式会社ICOMA)から依頼を受けて、バイクを組み立てて走る様子を紹介するPR動画を作りました。開発中の機体ということもあり、撮影方法を模索しながらの制作でした。動画をSNSに投稿したところ、海外で800万回以上再生されたんです。その動画がひとつのきっかけとなり、ICOMAさんは総務省の異能vationプログラムに選ばれたり、海外の展示会への出展や大手企業との協業が実現したり、事業展開が進んでいるそうです。

映像は商品の魅力を世に発信する強力な手段であり、事業展開の分岐点になりうることを改めて実感しました。お客様の事業拡大の話を聞くのは、とても嬉しく、やりがいを感じる瞬間です。



「タタメルバイク」のPR動画

4. 今後の展望

まず従業員を採用し、会社を強くする

創業後、葛飾区の創業支援施設「ゆめてらす新小

岩」に入居しました。安い賃料で助かりました。徐々に映像制作の仕事が増えてきたので、今年7月に立石にスタジオを開設しました。



スタジオで照明をセッティングする本村さん

今後は従業員を採用し、組織として運営体制を作り、事業を太くしていきたいですね。従業員には一緒に制作を経験してもらい、ワンストップでの対応力を高めてもらえるようにしたいです。

将来的には、地元で貢献できる「街の映像屋」を作りたいですね。商店街の方、学生、一般の方が気軽に映像や写真の相談ができるクリエイティブスタジオです。私は就職した時からずっと葛飾に住んでいます。社名を「かつしか映像制作所」にした思いでもあるんですが、葛飾を拠点とした会社として、地域でも映像の力を活用してもらえるよう、知見や知識を還元する存在になりたいと思っています。

5. 創業を考える方へメッセージ

自分のやりたいこと × ニーズ × フルスイング

創業は、自分に全責任があるけれど、自分に裁量があり好きなことができる点で私には合っていました。妥協せずやりたいことを突き詰めた方が頑張れるし、フルスイングした方が後悔はないですね。

ただ、事業として続けるには、自分がやりたいことだけでは厳しいのも事実です。世の中の需要(ニーズ)と自分のやりたいことが重なる部分を見つけるアンテナが必要だと感じます。私も映像制作に絞るまで試行錯誤しましたが、これまでの経験やいろいろな方との出会いを通じて、自分なりの根拠や自信を持って行動できました。そこを探していけるといいですね。